

紙さんてどんな人

【上】

大門参院議員が聞く

来年夏の参議院選挙へ北関東を活動地域に加えて奮闘する紙智子参院議員。
「紙さんってどんな人？」の声に応えて、同じ活動地域の大門実紀史参院議員が聞きました。

大門 この間、紙さんの「てた」と評判です。親しみ
話を聞いた人からは「わかを感じているようで」「ど
りやすい話し方に好感がもな人もっと知りたい」と
したきっかけは？

入党は

紙 私の家は農家で、自
民党支持者でした
から「共産党にな
んかなるなよな」
と言われていて、

共産党は最初は離れた存在
でした。でも兄が大学生の
時に共産党の活動をはじめ
ていて、話を聞くと、まと
もな活動をやっているんだ
なあと思っていました。
そこから近づいていくこ
とになりました。私が学生

になった時に、学費の問題
や、使い勝手の悪い食堂を
改善する取り組みのなかで
友達ができる。友達とつき
あう中で、私は世の中のこ
とを知らないことだらけで
これでいいのか、という思
いで勉強したい気持ちが強
くなっていったのです。

北海道でしたから、小林
多喜二や野呂栄太郎が何を
言っていたのかを勉強しま
した。民主主義もなく戦争
一色の当時の日本で「戦争
反対でがんばった党なん
だ」と感動したんです。で
も誰でもやれる活動ではな

共産党との出会い、父の演説

いと思っていました。そう
したら身近な友人が共産党
員だと知って、「私も入っ
ていっしょに」と入党しま
した。

紙 父とは、「ダメ」「な
んでダメなの？」「ダメだ
からダメ」というやり取り
が何回もありました。

父の考えは、共産党の考
え方はまともだと思うが世
の中の共産党への見方は冷
たい。わざわざ流れに抵抗
することがどんなに大変な
ことか、わからないのかと
いう話でした。最後は「お前
の好きにしろ」と言われて、
好きにしたんですが…。

大門 お父さんの反応
のなかから近づいていくこ
とになりました。私が学生



参院選にはじめて立候補したころ（1986年）の
紙智子さん（右）

実家で

紙 参院選の比例区から
三十一歳で立候補した時、
一九八六年のことでした。
北海道を回っている時に、

てくれました。父が周りの
人から「（紙さんの）結婚
相手を世話してやろうか。
でも共産党だからな」と言
われたことをブツクサ言っ
て、「なんでウチの娘だけ
こうなるんだ」と愚痴をこ
ぼす。母はそういう父をた
しなめていたそうです。
大門 お父さんは応援す
るようになったの？

大門 お父さんはどんな
演説を？

紙 親として、子どもの
言うことと対立してきたけ
れども、対立しながら子ど
もの言うことに理があると
感じていた、といいまし
た。世の中、キナクさい流
れになっているが、子ども
がめざしているような世の
中に早くなればいい、と。
私が立候補する時、周り
からいろいろ言われたよう
ですが「こうなった以上は
父親として応援する」と腹
を固めたようです。それか
らは表に出て支持を広げて
くれるようになりました。

大門 お父さんの演説を
聞いて紙さんは。

紙 もう泣いちゃって、

選挙対策の担当者から「き
ようは実家の前でやりまし
よう」と突然言われまして
。宣伝カーで実家（札幌
市）に行ったら親せきや近
所の人が集まっていた、父
が応援弁士になっていたの
です。

紙 もう泣いちゃって、
泣いちゃって…。終わった
後、コンタクトレンズがな
くなったと大騒ぎでみんな
で探したら、じつは目の裏
についてたなんて一幕もあ
りました。父はいま、地域
の九条の会でやっています。
（つづく）